

令和7年度 美容科、ヘアメイク科

課 目 名		美容実習（ワインディング） （必修課目）	使用教科書	美容師実技試験実技課題集		
課 目 の 目 標		ワインディング技術の習得 国家試験課題の取り組み				
履 修 学 科		美容科・ヘアメイク科				
履 修 学 年		1 学年	総時数	4 6 5 時間（2 3 2 時間）		
担 当 者		専任教員 A、B、C、G（実務経験 4 年以上の者）、H（実務経験 2 年以上の者）				
年間の授業計画						
学期	月	学 習 内 容	時数	評価の観点・考査等	授業の方法	
					講義	実習
前 期	4	ワインディングウィッグカット ブロッキング		巻き始めるための準備 ウィッグを正しく取り扱う 10ブロックが5分でできる		○
	5	センター下巻き センター上巻き		正しい姿勢を理解する ゴムの持ち方、正しい指使い センターが20分で巻くことができる		○
	6	前期中間試験 パーパス全頭巻き		衛生項目がしっかりできる ブロッキング5分、センター15分 スライスが正しくとれる ロッドのおさまりを理解する		○
	7	パーパス全頭巻き		角度、立ち位置を理解する 広げ、ゴム掛けの仕方を理解する		○
	8	パーパス全頭巻き		タイムを意識する 手直しの方法を理解する		○
	9	パーパス全頭巻き		9/24前期期末試験 オールバックから全頭35分		○
後 期	10	デザイン巻き		ブロッキングを理解する オンベース、1/2オフベースを理解する		○
	11	デザイン巻き		センターの奥行きを合わせる センターを8分で巻く		○
	12	デザイン巻き		タイムを意識する オールバックから全頭30分 期末試験		○
	1	デザイン巻き		国家試験項目を理解する シンメトリーを意識した作品作り		○
	2	デザイン巻き		国家試験項目を理解する オールバックから全頭25分 進級試験		○
	3					
備 考						
卒業・進級の認定基準		実技成績は100点法で査定し、60点以上で合格とする。（A～Dの4段階評価）				

令和7年度 美容科、ヘアメイク科

課 目 名		美容実習（オールウェーブセッティング）（必修課目）	使用教科書	美容師実技試験実技課題集		
課 目 の 目 標		オールウェーブ技術の習得 国家試験課題の取り組み				
履 修 学 科		美容科・ヘアメイク科				
履 修 学 年		1 学年	総時数	4 6 5 時間（2 3 3 時間）		
担 当 者		専任教員 A、B、C、G（実務経験 4 年以上の者）、H（実務経験 2 年以上の者）				
年間の授業計画						
学期	月	学 習 内 容	時数	評価の観点・考査等	授業の方法	
					講義	実習
前 期	4					
	5					
	6	オールウェーブウィッグの作成		レザーカット ストレートパーマ 毛先パーマ		○
	7	オールウェーブ フロント		コームの持ち方 正しい姿勢 ローションのつけ方 リッジの立て方		○
	8	オールウェーブ スカルプチュアカール		ウェーブバランスの考え方 ビンの開け方、打ち方 カールの作り方、おさめ方		○
	9	リフトカール		ウェーブの分け取り スライス線の取り方 段の合わせ方 ピンニングの仕方		○
後 期	10	フロントからリフトカールまでの復習		全体バランスを理解する 作り方の復習		○
	11	メイボールカール クロッキノールカール		カールの作り方 クロスピンニング 全体バランス		○
	12	後期中間試験対策		7 段構成 4 0 分 12/6 中間試験		○
	1	全体の構成		割れないウェーブ作り カールの大きさ、おさまり 留まるピンニング		○
	2	全体の構成 進級試験対策		全体バランスを考える 7 段構成 3 0 分 2/28 進級試験		○
	3					
備 考						
卒業・進級の認定基準		実技成績は100点法で査定し、60点以上で合格とする。（A～Dの4段階評価）				

令和7年度 美容科、ヘアメイク科

課 目 名		美容実習（ワインディング） （必修課目）	使用教科書	美容師実技試験実技課題集		
課 目 の 目 標		ワインディング技術の習得 美容師国家試験実技第2課題 合格				
履 修 学 科		美容科・ヘアメイク科				
履 修 学 年		2 学年	総時数	4 6 5 時間（2 3 2 時間）		
担 当 者		専任教員D、E、F（実務経験4年以上の者）				
年間の授業計画						
学期	月	学 習 内 容	時数	評価の観点・考査等	授業の方法	
					講義	実習
前 期	4	ブロッキング センター スライス・シェーブ・巻き込み・毛束の広げ・目線 収まり・ゴム掛け・奥行き合わせ		ブロッキングのセンターが真っすぐにとれる。 スライス線、シェーブが正確にとれる。		○
	5	ブロッキング センター スライス・シェーブ・巻き込み・毛束の広げ・目線 収まり・ゴム掛け・奥行き合わせ		ブロッキングのセンターが真っすぐにとれる。 スライス線、シェーブが正確にとれる。		○
	6	センター・バックサイド・サイド 全体の復習・苦手箇所の徹底トレーニング Cラインの収まり		センターのスライス幅が正確にとれて収まる。 バックサイドがセンターに対して正確に 収まり、両バックサイドがシンメトリーで ある事。		○
	7	全体のバランス 総復習 手直しトレーニング 苦手箇所の徹底トレーニング		前期実技試験へ向けて復習 タイム調整		○
	8	基本確認 総復習 タイム調節 手直しタイム 1分		全頭20分で巻き終わる。		○
	9	試験に向けて総復習		前期末試験実技へ向けて全頭20分で巻き終 わる。		○
後 期	10	全体のバランス・スライス・シェイプ・巻き収め チェック		センター、フロント、バックサイドを各 ブロックごとにタイム内で完成度をあげて いく。		○
	11	全体のバランス・スライス・シェイプ・巻き収め チェック 国家試験の採点基準説明		国家試験採点基準をふまえて、ブロッキング、 シェーブ、姿勢、巻き収まりが正確に行える。		○
	12	全頭18分、手直し2分のタイムトレーニング		国家試験に向け、全頭18分で巻き、 手直しの時間を2分残りタイム内で巻き 終わる事。		○
	1	全頭18分、手直し2分のタイムトレーニング		卒業試験実技 令和7年1月23日(木) 全頭20分で国家試験合格基準を満たし巻く。		○
	2			美容師国家試験・実技 令和7年2月3日(月)～4日(火)		
	3					
備 考						
卒業・進級の 認定基準		実技成績は100点法で査定し、60点以上で合格とする。（A～Dの4段階評価）				

令和7年度 美容科、ヘアメイク科

課 目 名		美容実習 (オールウェーブセッティング)	使用教科書	美容師実技試験実技課題集		
課 目 の 目 標		オールウェーブセッティング技術の習得 美容師国家試験実技第2課題 合格				
履 修 学 科		美容科・ヘアメイク科				
履 修 学 年		2 学年	総時数	4 6 5 時間（2 3 3 時間）		
担 当 者		専任教員D、E、F（実務経験4年以上の者）				
年間の授業計画						
学期	月	学 習 内 容	時数	評価の観点・考査等	授業の方法	
					講義	実習
前 期	4	1 段目～7 段目 フィンガーウェーブ、リッジの確認、スカルプチュア カール・リフトカール・メイボールカール・クロッ キノールカールの作り方、収め方、位置、ピニング		カールスペースが正確にとれている。 フィンガーウェーブ、リッジを正確に作る。 カールの収まりが正確である。		○
	5	1 段目～7 段目 フィンガーウェーブ、リッジの確認、スカルプチュア カール・リフトカール・メイボールカール・クロッ キノールカールの作り方、収め方、位置、ピニング		カールスペースが正確にとれている。 フィンガーウェーブ、リッジを正確に作る。 カールの収まりが正確である。		○
	6	1 段目～7 段目 スカルプチュアカール・リフトカール・メイボール カール・クロッキノールカールの作り方、収め方、 位置、ピニング		カールの大きさ、バランス、毛先の処理が 正確に作れる。		○
	7	全体のバランス オープン・クローズのフェイスライン確認 ピンカールのバランス		前期実技試験へ向けて復習 タイム調整		○
	8	全体のバランス オープン・クローズのフェイスライン確認 ピンカールのバランス タイム調整		時間内に仕上がる 全頭2 5 分チェック		○
	9	試験に向けて総復習		前期期末試験実技へ向けて 全頭2 0 分で巻き終わる。		○
後 期	10	フィンガーウェーブ、リッジの確認 スカルプチュアカール・リフトカール・メイボール カール・クロッキノールカールの作り方、収め方、 位置、ピニング		タイム2 5 分以内でカール、フィンガー ウェーブ、リッジが正確に作れる。		○
	11	美容師国家試験実技第2 課題発表 フロント2 段目リッジの奥行、コームの使い方、 ピニング		国家試験採点基準をふまえて、バランス、 ピンカール、リッジが正確に作る事が出来る。		○
	12	メイボールカール、クロッキノールカールの確認 全体のバランス		国家試験に向け、全頭2 3 分で作り、手直しの 時間を2 分残りタイム内で作り終わる事。		○
	1	全頭2 3 分、手直し2 分のタイムトレーニング		卒業試験実技 令和7 年1 月2 3 日(木) 全頭2 5 分で国家試験合格基準を満たし作る。		○
	2			美容師国家試験・実技 令和7 年2 月3 日(月)～4 日(火)		
	3					
備 考						
卒業・進級の認定基準		実技成績は100点法で査定し、60点以上で合格とする。（A～Dの4段階評価）				

令和7年度 トータルビューティー科

課 目 名		フェイシャル実習		使用教科書	新エステティック学技術編Ⅰ	
課 目 の 目 標		フェイシャルエステティックの基礎技術を習得する JE0エステティシャンセンター試験合格				
履 修 学 科		トータルビューティー科				
履 修 学 年		1 学年		総時間数	1 2 0 時間	
担 当 者		専任教員K、L、兼任教員M（実務経験4年以上の者）				
年間の授業計画						
学期	月	学 習 内 容	時間数	評価の観点・考査等	授業の方法	
					講義	実習
前 期	4	ベッドセッティング、ワゴンセッティング、スチームタオル、コットンなどの事前準備方法、ターバンの巻き方		衛生を保った事前準備方法を習得する		○
	5	クレンジング手法、ディープクレンジング技術（ゴマージュ・酵素・粒子・吸引・エレクトロクレンジング・ブラシクレンジング）技術を学ぶ		機器の安全な操作方法、注意、禁忌事項の確認をし習得する		○
	6	エステティック協会マッサージ技術 トータル練習→相モデル		マッサージ技術の習得 身体、肩、手のスキントッチを習得する		○
	7	試験練習 機器（イオン導入・パター）技術・理論		理論の理解、機器の安全な操作方法、注意、禁忌事項の確認をし習得する		○
	8	クレンジング～ディープクレンジング～機器～マッサージ 復習		全ての理論、注意事項を把握した上での技術習得を目指す		○
	9	試験練習・試験		試験練習・試験		○
後 期	10	パック塗布・除去方法 機器（高周波）操作方法 コンサルテーションの記入方法を学ぶ		正確なコンサルテーションの情報、肌診断を目指す		○
	11	トータルトリートメントメニューの練習 試験練習		正確なコンサルテーションから安全かつ、効果的なトリートメント技術ができるように目指す		○
	12	試験練習・校内コンテスト練習 進級試験		試験練習・校内コンテスト練習 進級試験		○
	1	コンサルテーションの復習、トータルトリートメントメニューの練習		正確なコンサルテーションから安全かつ、効果的なトリートメント技術ができるように目指す		○
	2	季節のトリートメント		季節に合ったトリートメントプランの構築を図る		○
	3					
備 考		予定時間数	120			
卒業・進級の認定基準		実技成績は100点法で査定し、60点以上で合格とする。（A～Dの4段階評価）				

令和7年度 トータルビューティー科

課 目 名		フェイシャルエステティック	使用教科書	新エステティック学技術編Ⅰ		
課 目 の 目 標		フェイシャルエステティックの応用技術を習得する 日本エステティック協会上級試験合格				
履 修 学 科		トータルビューティー科（旧：ビューティーエステ科）				
履 修 学 年		2 学年	総時間数	1 4 7 時間		
担 当 者		専任教員K、L、兼任教員M（実務経験4年以上の者）				
年間の授業計画						
学期	月	学 習 内 容	時間数	評価の観点・考査等	授業の方法	
					講義	実習
前 期	4	上級試験にむけての要項説明 コンサル～深部洗浄技術復習、練習		上級試験にむけての流れを把握し時間管理 を各自で行えるようにする。肌診断～深部 洗浄技術の習得		○
	5	上級試験にむけての技術練習 クレンジング～コンサル～機器練習		上級試験にむけての正しい機器取り扱い・ 技術習得		○
	6	トータルフェイシャルトリートメント技術復習 苦手分野技術練習（コンサル対策含）試験練習		フェイシャルトータル技術において苦手分 野の克服（正しい肌診断プラン構築）知識 の習得		○
	7	上級試験にむけてのトータル技術練習 上級・修了試験		フェイシャルトータル技術向上を図る 上級・修了試験		○
	8					
	9					
後 期	10					
	11					
	12					
	1					
	2					
	3					
備 考		予定時間数	147			
卒業・進級の認定基準		実技成績は100点法で査定し、60点以上で合格とする。（A～Dの4段階評価）				

令和7年度 トータルビューティー科

課 目 名		ボディ実習	使用教科書	新エステティック学技術編Ⅰ		
課 目 の 目 標		ボディエステティックの基礎技術を習得する JE0エステティシャンセンター試験合格				
履 修 学 科		トータルビューティー科				
履 修 学 年		1 学年	総時間数	9 0 時間		
担 当 者		専任教員K、L、兼任教員M（実務経験4年以上の者）				
年間の授業計画						
学期	月	学 習 内 容	時間数	評価の観点・考査等		授業の方法 講義実習
前 期	4	実習室の使い方、体重移動、前操作～下肢ウラ マッサージ技術		誘導から下肢うらマッサージ技術の習得		○
	5	下肢うらマッサージ技術復習 マッサージ		誘導～下肢うらマッサージ技術の習得がで きているか確認		○
	6	サクシオン機器説明 操作方法 前操作～サクシオン～足裏 自分のボディチェックシート作成		サクシオン機器の安全な操作方法、禁忌、 注意事項の確認 正しいボディチェックの 見方習得		○
	7	マッサージ復習、試験練習、前期試験		サクシオン機器の安全な操作方法、禁忌、 注意事項の確認 確認試験		○
	8	G5機器説明 操作方法 練習		G 5 機器の安全な操作方法、禁忌、注意事 項の確認タイム計測		○
	9	低周波機器 操作方法（腹部・大腿部・腰背 部・上腕）		低周波機器の安全な操作方法、禁忌、注意 事項の確認		○
後 期	10	コンサルテーション（グループワーク 原因・ 対策）		肌状態、採寸の正確な技術方法の習得 コミュニケーション技術 習得		○
	11	コンサルテーション～採寸 機器復習		肌状態、採寸の正確な技術方法の習得		○
	12	参観日練習		参観日に向けての技術向上		○
	1	進級試験練習		コンサルテーションに合わせた機器選択ができるよ うにする 試験練習 タイム測定		○
	2	進級試験練習 進級試験		コンサルテーションに合わせた機器選択ができるよ うにする 試験練習 タイム測定 進級試 験		○
	3					
備 考		予定時間数	90			
卒業・進級の 認定基準		実技成績は100点法で査定し、60点以上で合格とする。（A～Dの4段階評価）				

令和7年度 トータルビューティー科

課 目 名		ボディエステティック		使用教科書	新エステティック学技術編Ⅰ	
課 目 の 目 標		ボディエステティックの応用技術を習得する 日本エステティック協会上級試験合格				
履 修 学 科		トータルビューティー科（旧：ビューティーエステ科）				
履 修 学 年		2 学年		総時間数	1 5 3 時間	
担 当 者		専任教員K、L、兼任教員M（実務経験4年以上の者） 兼任教員N（実務経験2年以上の者）				
年間の授業計画						
学期	月	学 習 内 容		時間数	評価の観点・考査等	
					授業の方法 講義 実習	
前 期	4					
	5	低周波（上半身） 下肢マッサージ（アレンジ）			お客様の悩みを想定した、マッサージ技術 を習得できているか	
	6	ヒートマット+下肢マッサージ			効果的、効率的な姿勢、ポジショニング	
	7	結果出し取り組み ボディ超音波			モデルの悩みにあったお手入れをし結果を だしていく。	
	8	結果出し取り組み			モデルの悩みにあったお手入れをし結果を だしていく。	
	9	結果出し取り組み 修了試験			モデルの悩みにあったお手入れをし結果を だしていく。	
後 期	10	学生模擬サロン（ONEDAY）技術構築・練習			学生模擬サロン（ONEDAY）オープンに向け てお客様へ提供する技術の練習	
	11	学生模擬サロン（ONEDAY）技術構築・練習 修了試験			学生模擬サロン（ONEDAY）オープンに向け てお客様へ提供する技術の練習 修了試験	
	12	学生模擬サロン（ONEDAY）技術確認 営業準備			学生模擬サロン（ONEDAY）オープンに向け てお客様へ提供する技術確認・準備	
	1	学生模擬サロン（ONEDAY）技術確認 営業準備			学生模擬サロン（ONEDAY）オープンに向け てお客様へ提供する技術確認・準備	
	2	片付け・引継ぎ・在庫管理			学生模擬サロン（ONEDAY）引継ぎ・在庫管 理	
	3					
備 考		予定時間数		153		
卒業・進級の認定基準		実技成績は100点法で査定し、60点以上で合格とする。（A～Dの4段階評価）				